昭和基地での自然エネルギー利用の現状について

勝田 豊、藤野 博行(国立極地研究所)

発表の内容

• 稼働中の自然エネルギー利用設備の紹介

・設備の稼働状況について

・まとめと今後の課題

太陽光発電装置

- 第38次隊(1996):真北向きに10kW設置、ヒーター負荷。
- 第39次隊(1997):真北向きに10kW、50kWパワーコンディショナを設置して連系運転を開始。
- 第40次隊(1998):北東、北西向きに各5kW増設。
- 第41次隊(1999):同上、パネルの破損を確認。
- 第42次隊(2000):パワーコンディショナ故障、パネルの増設 見送り。
- 第43次隊(2001):北東向き5kW、北西向き10kW創設。パワーコンディショナ復旧し、運転再開。
- 第57次隊(2015):パワーコンディショナを100kWに更新。

太陽光発電装置





太陽熱温水装置

- 第42次隊(2000)にて、第1夏期隊員宿舎の増設にあわせて設置され、翌第43次隊から稼働開始。第1夏期隊員宿舎が使用される夏期期間のみ運用している。
- 集熱器仕様: 真空2重ガラス管型集熱管13本、集熱面積 1.82m²(1872x972mm)
- 集熱器は24台設置され、負荷条件として給水温度0℃、 加温温度30℃、給水量10,800ℓ/日と設定されている。



2018/06/4 第15回設営シンポジウム



太陽熱集熱器(ソーラーウォール)

- * 第51次隊(2009)から第54次隊で建設された自然エネルギー棟の北面、西面に設置された。
- * 太陽熱集熱外壁パネル(約3300x950mm)を北面に24枚、西面に約48枚使用し、8系統の集熱回路を設置している。





風力発電機

* 第53次隊(2011)から導入を計画したが、「しらせ」が 2年続けて昭和基地に接岸できず、ようやく第55次隊 で資材を輸送することができた。翌第56次隊で1号機 が、第57次隊で2号機が設置された。

最大出力 : 20kW 3相400V(50Hz)

発電機型式 : 誘導発電機

カットイン風速 : 4.5 m/s

定格風速 : 15.0 m/s

カットアウト風速 : 22.5 m/s

ローター径 : 6.3 m

ローター長さ : 6.3 m



各設備の稼働状況について

- * 太陽光発電装置 特に問題無く稼働中(5月から7月は、ほぼ停止)。
- * 太陽熱温水装置 第1夏期隊員宿舎が開設されている間のみ稼働。
- * 太陽熱集熱器(ソーラーウォール) 現状では積極的に稼働していない模様。
- * 風力発電機 制御パラメーターの変更を行いつつ稼働させている。 現在は点検・調整のため停止中。

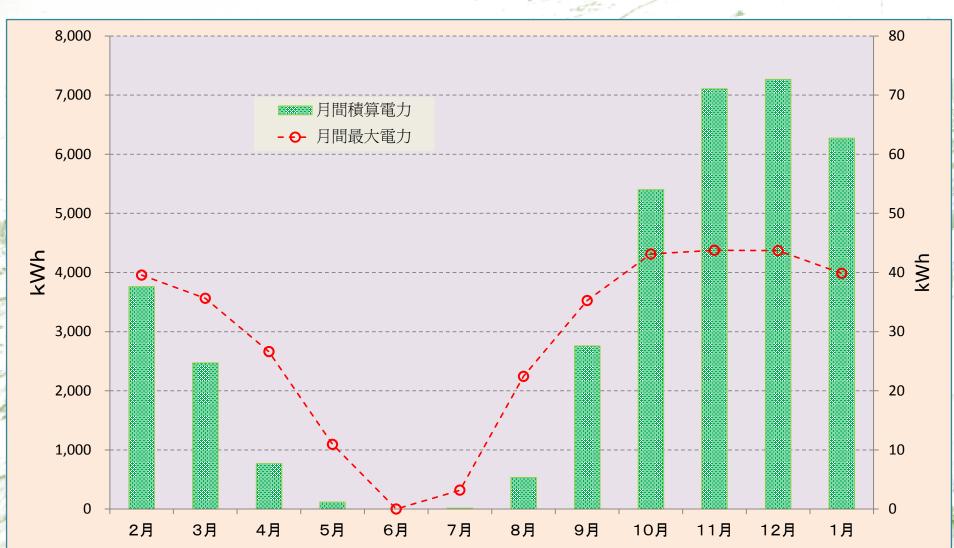
太陽光発電装置の稼働状況

隊次ごとの発電電力量の推移



太陽光発電装置の稼働状況

月ごとの発電電力量(第43~58次隊の平均)

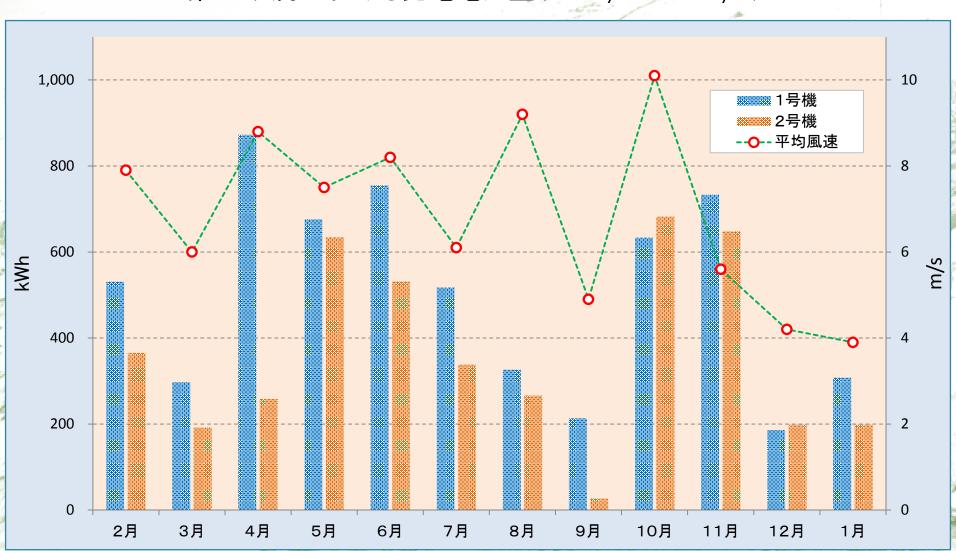


太陽光発電装置の稼働状況

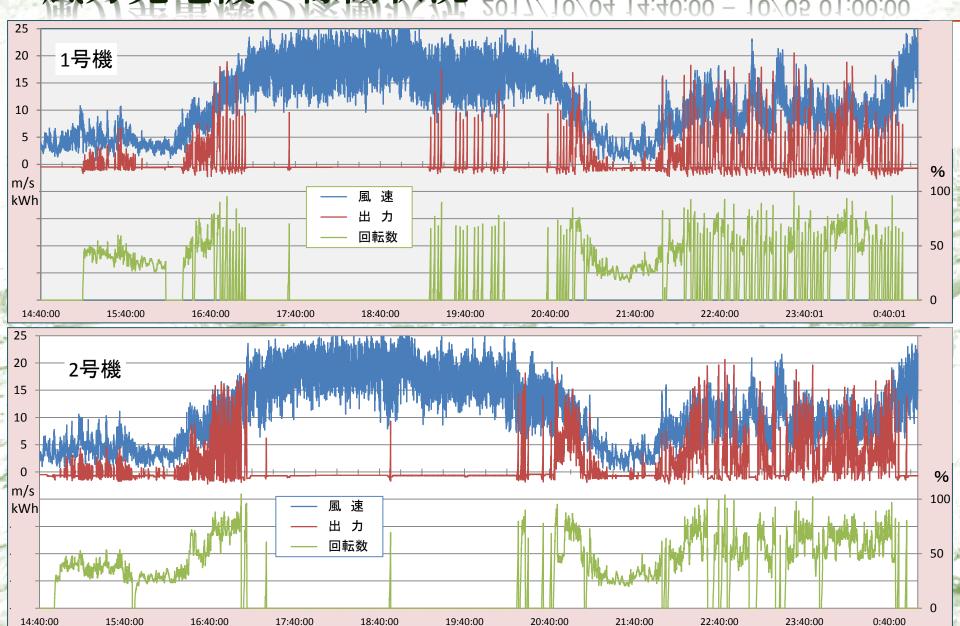


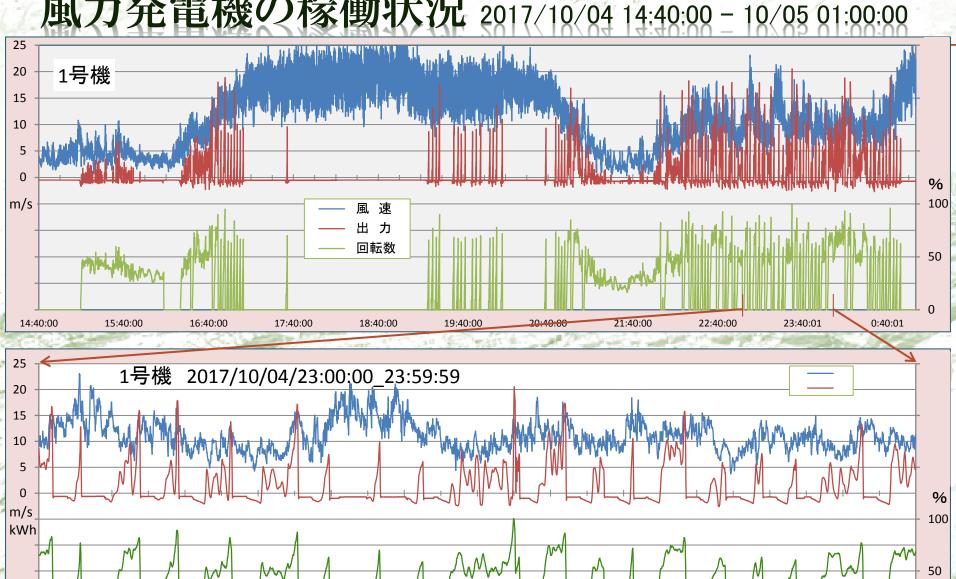
風力発電機の稼働状況

第57次隊における発電電力量(2016/2~2017/1)



風力発電機の稼働状況 2017/10/04 14:40:00 - 10/05 01:00:00





23:30:00

23:35:01

23:40:01

23:45:01

23:50:01

23:55:01

23:00:00

23:05:00

23:10:00

23:15:00

23:20:00

23:25:00

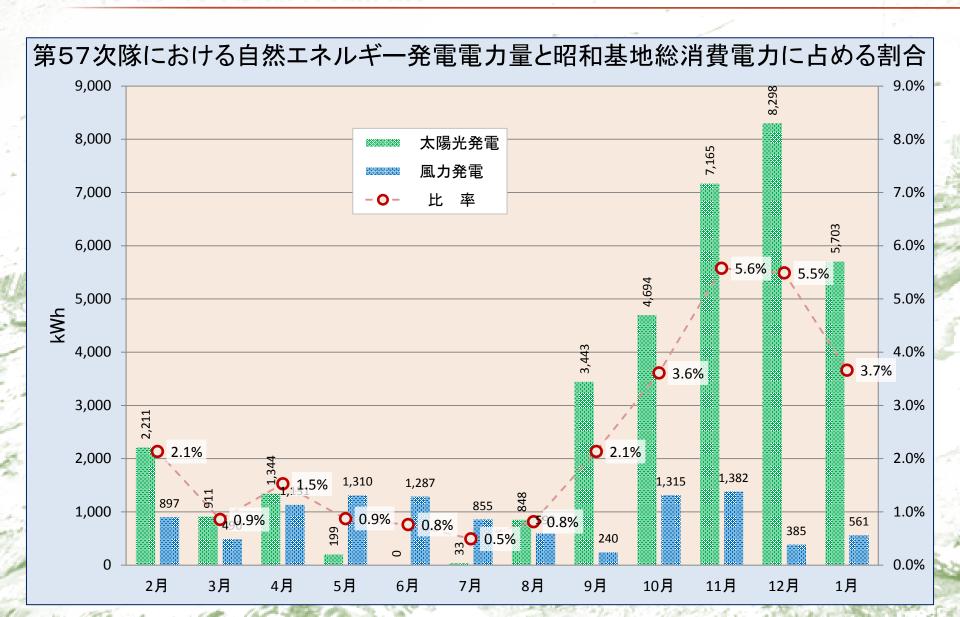
風力発電機の稼働状況 2017/10/04 23:00:00 - 10/04 23:59:59



風力発電機の稼働状況



まとめと今後の課題



まとめと今後の課題

- × 太陽光発電パネルの更新と増設
- ×系統連系に係る設備の導入
- * 設備の稼働状況データの取得方法と有効利用